



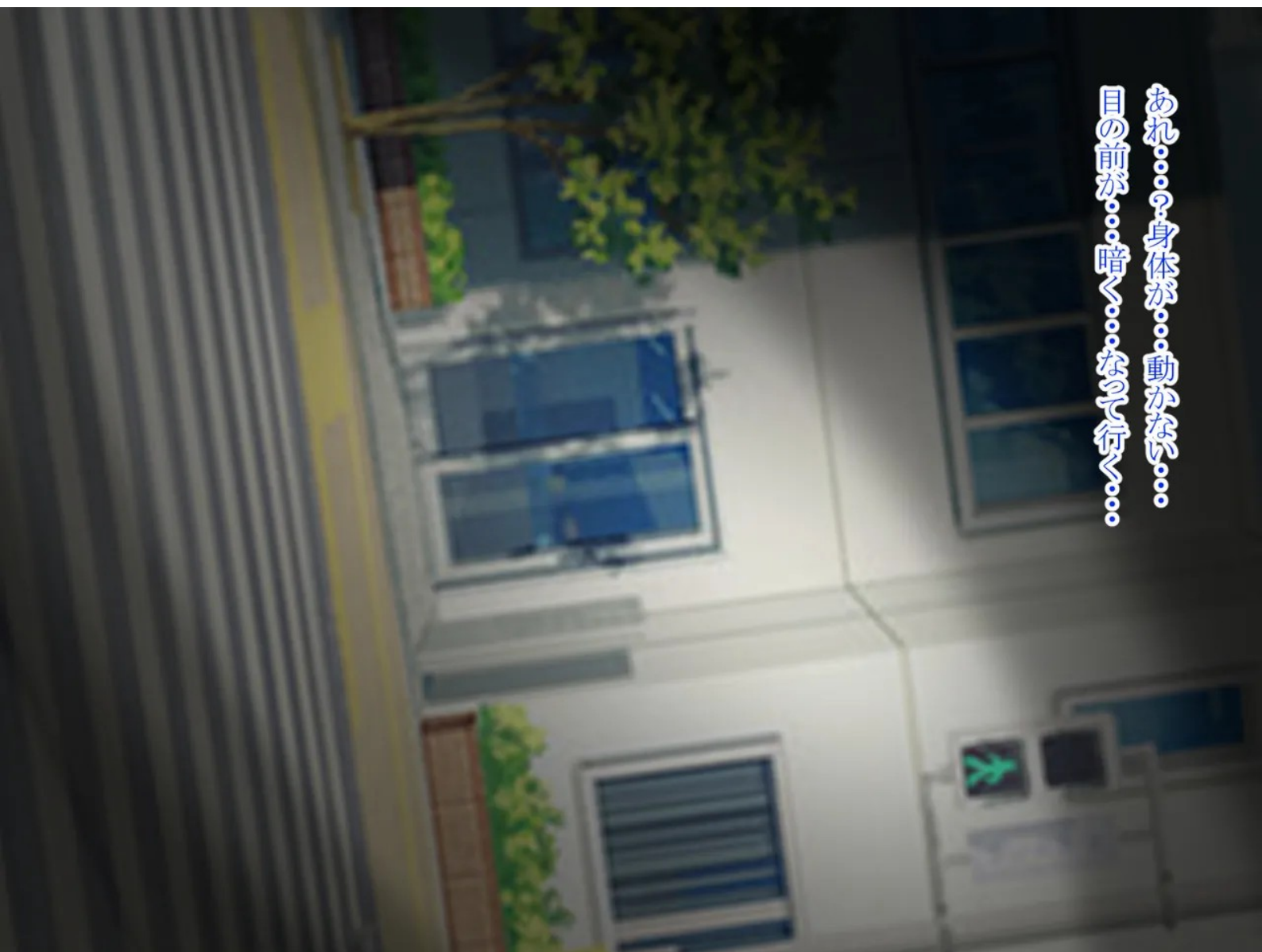
転生したらサキスバスになった





「危ない！」
「ん？」

あれ……身体が……動かない……
目の前が……暗く……なっていく……



もしかして俺……

轆かれたのか……？

嘘……？もしかして……

俺……死ぬの……？

「おい」

ん？

「おい」

誰か呼んでる？

もしかして…俺…生きてる？

「お？気がついたかな？」

え？

あれ？声が出ない。。

「ああ。。君は死んだよ？」

「今の君は魂だけの存在」

「声を出す口もなければ、そもそも肉体もない」

何を言ってるんだ？

これは夢？あの世？



「ふふ。あの世か〜ま、それでもいいかもね」

「じゃあ、本当に俺は…」

「だから死んだって言ってるだろ？」

「それに「こんなとこで時間を使っちゃ読者が…」

読者…??」

「あぁ…なんでもない」

「単刀直入に言おう？」

「君はこれから別の世界でサキユスちゃんとして生きてもらうから
え？サキユス……？」

「時間がないからね！」

「じゃあ、あとはよろしくね」

えー？ちよとー！

「お！新人りかな？♡」

「え？え！？」

「なんだ！？このエロい服装のお姉さんは！？」

「どうしたんだい？」

「そんなにびびるのよ！♡」



「え……いや……」

「そのなんだか訳がわからないというか……」

「ふふ♡ああ……なるほどね♡」

「たしか、君は元々人間で……」

「この世界に転生って形で来たんだもんね♡」

「たしかにいきなりこんな状態だ……」

「仕方ないかもね」



「説明もするもの大変だ」

「きっと今のままじゃすぐには理解できないかもしれない」

「まずは身体チャック…♡」

「この世界の説明と君の使命は追々教えて行くよ♡」

「その方が理解も早い♡ふふ♡」



「ちよつと失礼♡」

「ふぁーっ？」

「ふふ♡ちよつとくすぐったいかもよ♡」

「我慢してねっ♡♡」

いきなりなんだ!?





「うん♡なかなかいい身体だね♡」

「これなら沢山の男から精気を奪えそう♡」

「ちよら♡ooooやめてooo」

「ダメだよ♡これは大事なことなんだから♡」

「しっかり調べないと♡」

「ひゃっー」

「いいおっぱいだね♡」

「おま●こもこんなに綺麗♡」

「男とやる前に私が味見しちゃいたいくらい♡」

「なんで身体が女みたいに。。。!?!」

「これは現実なの?」



「もっと色々調えないとね♡」
確かにさっきから変なこと...
本当に俺は転生して...
さ、サキユスに...?」



「あら？だんだんこの状況がわかってきたかな？」

「さっきより顔が冷静になってきたみたい♡」

「これ…現実なんです？」

「ふふ♡うん♡そうだよ♡」





「ほろ♡」

「はあっ♡」

「ム♡無いですよ♡おち♡とん♡」

「その代わりにおま♡こ♡になっ♡て♡」

「なんだこの感覚…味わったことないくらい…」

「気持ちいい…♡」

「んんん♡」

「んんん♡」

「でもラッキーだね♡」

「サキマススの感度は人間の何倍もいんだよ？」

「男からいきなりサキマスス♡」

「これからは気持ち良過ぎて頭おかしくなるかもよ♡」

人間のときよりも…何倍も…

「はぁ…はぁ…」



「君。。。いいサキミスになれるよ♡」
「はぁ。。。はぁ。。。」





「それじゃ...」
「次は実技♡」
「え？実技って...」



「ふふ♡実際に男とやってみるんだよ♡」
「まあ、ヤン●ク○ン♡」
男と…嘘…
俺が…？無理だる…そんなの…

「でもいきなりやると言っても難しいかも」
「私が下準備してあげる♡」
下準備。。。?





「それじゃこの男を使ってやってみようね♡」
「さっき捕まえたばかりの男だから新鮮だよ♡」



「ふふ♡大きくなってる♡」
「もうこんなになって…♡」
「早くして欲しくてたまらないんだね♡」
「じゃあ…♡」



「んはぁ♡」
「ビクビクして可愛い♡」
あれ…なんだこの感情…
あの男の…どうして…
あんなに美味しそうに…



「早く喰えて欲しいの」
「はあ…はあ…」
こんなにドキドキして…
俺…なんか変だ…



「はむ……♡」
「ふふ♡クン♡ん♡な♡た♡♡」
「私の回の中気持ち♡♡♡♡」

はむ♡

♡♡

♡♡

♡♡



すっぴい…音…
こんなエツチな音…初めて…
男もすっぴい気持ち良さと…



「まだ出しちゃダメだからね?♡」
「君はあの子の練習台だから...♡」
「あの子より先にいっっちゃダメだよ♡」

「あはあ……♡」

「フェリスはこれで終わり♡」

「これから、あの子とたくさん気持ちよくなってね♡」

「練習だからたくさん我慢してもらわないとだけど……」

「頑張ってるね？♡」





「それじゃ…早速♡」
「セン○ス…してもらおうか♡」
「Yes…」
「ふふ♡緊張しなくて♪♪から♡」
「本能のまま…♡」



「早く入れてあげないと…」
「男がかわそうだよ♡」
「い、入れるって…」
「ほら♡彼の上に跨って…♡」



「はぁ…はぁ…」

本当に…うた…

「そのまま…腰を下ろすの♡」

嫌なはず…なのに…

どうして…どうして…

俺は…入れたいと思ってるんだ…?

アッ...

アッ...

アッ...

「はぁ...あつ」
「当たってる...」
「他人のち●ぽが...俺の...」
「ゆっくりでいいからね♡」
「そのまま入れて...♡」



「はぁ…はぁ…」
「入った…入っちゃった…」
「つながったね♡」
「次は腰を動かして♡」
「君はできるだけだけ我慢♡」
「すぐに出したらダメだよ♡」







「はぁ...」
「ふふ♡可愛い声出しちゃって♡」
「初めての体験は♡♡♡」
「気持ちいい♡♡」
「どうして♡♡♡」
「え...」
「すっごく気持ちいいかも...」



「ひゃーっ！」

「あんなペニスじゃ満足できないっで♡」

「ちんちん待たっっ！」



「うっ！はあっ！」

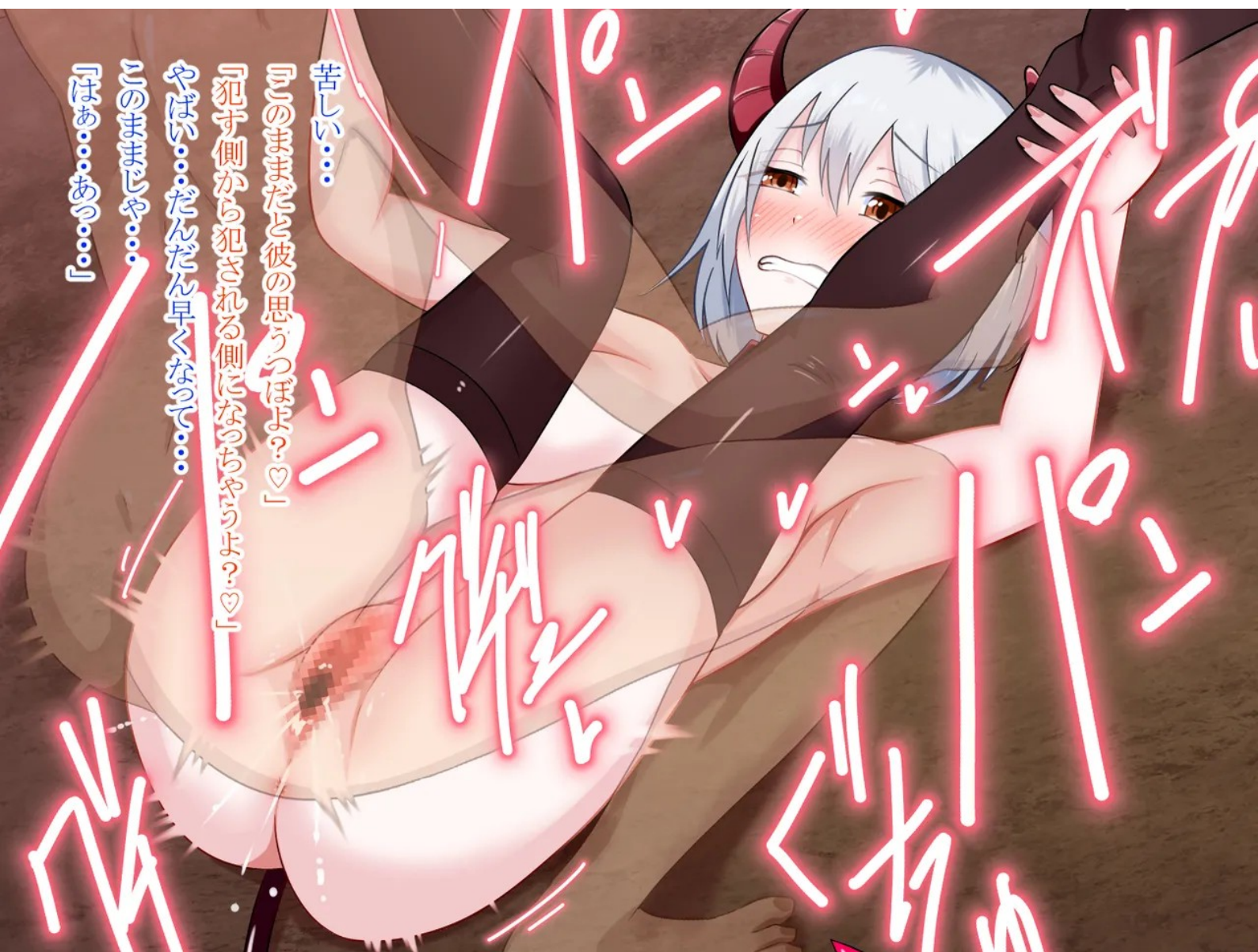
こんな体勢で……

身動きが……とれない……!!

「あらら♡」



恥ずかしい…
こんなの…どうしよう…
恥ずかしいのに気持ちいい…!
「や、やめっ—」
「んっ—はあっ—」



苦しい...

「このままだと彼の思うつぼよっ♡♡」

「犯す側から犯される側になっちゃうりよっ♡♡」

「やばい...だんだん早くなって...」

「このままじゃ...」

「はあ...あ...」



「うっ…はぁぁあぁっ!?!」

熱い…熱いのが…!!

出てる!?! 中で何が!?!

「あら♡彼…♡いっちゃったみたい♡」



「あ……はあ……」
ビクン……ビクン……中で
脈打ってる……
本当に中であちやっただ……？

ビクン

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ



「何休んでるの?」

「彼はまだ元気みたいだよ?♡」

「え?」



「えー？まだやるのー？」
「あはは♡」
「当然だよ♡相手はサキユスだもん♡」
「男は限界までやり続けるの♡」
「そんなー？」



「んーんー」
さっきと違う場所に当たって…
どうしたら…
全然力が出ない…
このまままた出されちゃうの？



「さっき出された精子が溢れちゃってるよ？」

「もったいないなあ♡」

「しっかり締めてあげないとたくさん回収できないよ♡」

「そんな」と言われても…」

全然…無理…」

「はあ…あ…」



「あははははは」

「あはははは」

「また出た」

「男の子気持ち良さそう」



「あは〜♡」

「またこんなに零しちゃって♡」

「しっかり締めないと勿体ないな♡」

「はあ…はああ…」

「まだやれそう♡♡」

「男はやりたみたいだよ♡♡」

「まだ…？そんなの…」

「ふふ♡無理そうね♡」

「はいよ♡じゃあ…私がお手本を♡」



「そこに横になりな♡」
「今度は私が相手してやる♡」



「欲望のまま出すんだよ♡」
「私がお前の全部受け止めてあげる♡」
「ほら♡おっぱいも触ってんぞ♡」
「どう？柔らかいだろ？♡」

「そのまま気持ちよくなってるね♡」
「我慢もしなくていい♡」
「出したい時に出して♡」
「そしてそのまま逝っちゃって♡」
「それじゃたくさん動くんよ♡」





「ああ♡はあ♡」

「敏感になってるおち●ちんにはかなり刺激が強いかな？♡」

「そんな苦しそうな顔して♡」

「興奮しちゃうよ♡」



「あはは♡」
「もうおっぱいは揉まなくてもいいの♡♡」
「すごい…どんどん男の体力が…」
「きつと、もう腕に力が行かないんだ…」

1/17...



「んー♡ふふ♡」
「曲る曲る♡」
「まだこんなに残ってたんだね♡」



「一滴残らず出すんだよ?♡」
「この感じならまだ残ってるたる♡♡」
「ほら休まずに出しきるんだ♡♡」
「ほら♡ほら♡♡」
「♡♡♡♡♡」



「うんん♡はぁ♡」

「やっぱり中出しされるの気持ちいい♡」

「身体に染みる♡」

「はぁぁぁ♡」

「すっぴん♡気持ち良さそう♡」



「あはは♡」
「ももっ♡出ておくれ♡」
「空っぽになるまで♡」
男の様子が…血色が…





「はぁ♡逝っちゃったか♡」
「まあ10回以上も私とやったら仕方ないか♡」
「最後なんでもう水しか出てなかったしね♡」



「ふんふん♡」

「これがサキマスの仕事♡」

「ぱんぱんふんふん♡」

「んんんん♡」

「ふんふん♡」



「しばらくは…」

「私が男用意して」

「毎日やっていくのがいいかな♡」

「大丈夫♡慣れればあなたも」

「立派なサキユスになれるよ♡」



本当に大丈夫かな。。。？

数日後

「はぁ♡気持ちいい♡♡」
「はぁ…はぁ…」
「ふふ♡もう声も出ないの♡♡」
「まだ3回しかイってないよ♡♡」





「ほら♡休まなさい♡」
「たくさん腰振ってよ♡」
「サーブスでもっと締めてあげる♡」
「もっとうちに出ー♡」
「ね♡♡」

「私も動くの手伝ってあげる♡」
「君は気持ちよくなる」とだけ集中♡」
「それ以外は考えないで♡」
「どっつかもう考えれなげか♡」





「んっ♡」
「Eh♡Eh♡Eh♡」
「濃くのがたぐり♡」
「この出ている感覚♡」
「最高で気持ちSSS♡」



「はぁ♡」
「おっ、おっ、おっ、おっ♡」
「おっ、おっ、おっ、おっ♡」
「あれ、遊ばせられたの♡♡」
「残念♡」

「次の男探しに行かなきゃ」





「今日は2人だね♡」
「それにしても」
「もう一人前のサキミアスだね♡」
「おかげさまで♡」

「育てた甲斐があったよ♡」
「それじゃ行こうか♡」
「えっ♡」



「はぁ♡」
「みんなで気持ちよくなるっね♡」
「今宵は長くなるっいな♡」
「頑張ってね♡♡」





「この挿入する瞬間♡」
「これ好き♡」
「わかる♡私も大好き♡」



「んんっ!?!♡」
「ちよつと♡入れただけでイっちゃった♡」
「だらしない男♡」
「ちよつとは私たちを楽しませてよ♡」



「はぁ♡♡」

「うちもイっちゃったみたい♡」

「あはは♡情けなす♡」

「うん♡♡」



「はぁ♡ん♡」
「あ♡ん♡♡気持♡ち♡♡」
「セックス気持♡ち♡♡」
「あなた達の精子でお腹♡ぽ♡ん♡♡として♡よ♡ね♡」
「ほら頑張れ♡あはは♡」



「おっ」
「おっ」
「おっ」



読者のみなさまが読むのを待っています。

次のページからお楽しみください。

おへん











































